第81期

期末報告書

（平成25年４月１日から
平成26年３月31日まで）

中日本興業株式会社

平成26年６月

株主の皆様へ

中日本興業株式会社
代表取締役社長　服部　　徹

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、当社は第81期（平成25年４月１日から平成26年３月31日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績ならびに事業の概況につきましてご報告申しあげます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

目　次

事業の概況……………………………………………………… 2
連結貸借対照表………………………………………………… 5
連結損益計算書………………………………………………… 6
貸借対照表……………………………………………………… 7
損益計算書……………………………………………………… 8
会社の概要／役員……………………………………………… 9
「株主ご優待券」について ……………………………………10
株主メモ／上場株式等の配当等に関する『源泉徴収税率』変更のご案内

事 業 の 概 況

　当連結会計年度におけるわが国経済は、デフレ脱却を目的とした政府の経済対策や金融政策の効果により、公共投資の増加、雇用・所得環境の改善が見られるなど、緩やかに景気が回復しました。しかしながら、世界経済の下振れリスク等の懸念材料があり、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。
　このような経営環境のもと当社グループでは、引き続き経費適正化を図るとともに、サービスの一層の充実を推進し、ご満足いただける映画・商品のご提供をすることで、お客様の「感動の創造」に努めてまいりました。
　この結果、売上高は34億25百万円、営業利益は１億18百万円（前年同期比20.1減）、経常利益１億26百万円（前年同期比18.9％減）、当期純利益１億２百万円（前年同期比4.3％減）となりました。
　以下、事業別の概況をご報告申しあげます。

【シネマ事業】
　映画業界では、平成25年の全国入場人員は前年比0.5％増の１億55百万人、興行収入におきましては、0.5％減の1,942億37百万円となり、ほぼ昨年並みの成績でした。邦画およびアニメについては、好調を維持し、特にアニメは、全国の興行収入の上位を独占するなど、業界内のアニメに対するウエイトが大きくなりました。また、洋画につきましては、前年よりも公開本数が増加いたしましたが、依然として興行収入では全体の40％を割っており、厳しい状況が続いております。
　一方、スクリーン数においては、２年連続で減少しておりましたが、昨年は再び増加に転じるなど、シネマコンプレックスの飽和状態が続いており、１スクリーンあたりの興行収入は、依然として改善に至っておりません。
　このような状況のなか当事業では、デジタル化を活かしODS（映画以外のデジタルコンテンツ）の上映を増加させるなど、多彩かつ機動力のある番組編成を行い、良質な作品を提供することにより、稼働率の向上に努めてまいりました。「ミッドランドスクエア　シネマ」では、平成25年の年間興行収入は４年連続中部１位、「ミッドランドシネマ 名古屋空港」では、年間の動員ならびに興行収入の記録を更新するなど、好調に推移いたしました。
　当期は、洋画117本、邦画88本、アニメが36本、ODSが54本の合わせて、295本公開いたしました。

主な上映作品としましては、洋画では、４月公開の３Ｄ映画「アイアンマン３」、７月公開の「ワイルド・スピードユーロ・ミッション」、８月公開の「ローン・レンジャー」、12月公開の３Ｄ映画「ゼロ・グラビティ」、邦画では、６月公開の「真夏の方程式」、８月公開の「謎解きはディナーのあとで」、９月公開の「そして父になる」、12月公開の「永遠の０」、アニメでは、７月公開の「モンスターズ・ユニバーシティ」、「風立ちぬ」、３月公開の３Ｄ映画「アナと雪の女王」、ODSでは、「ももいろクローバーＺ 春の一大事2013」、月イチ歌舞伎「野田版研辰の討たれ」などの番組を編成いたしました。

特に、「アナと雪の女王」は、幅広い年齢層に支持され、主題歌のヒットも後押しするなど、６月に入っても好調を維持し、昨年の全国の興行収入１位の「風立ちぬ」を超える興行を継続中であります。

また、「ミッドランドシネマ 名古屋空港」におきましては、映画の黄金時代の特に優れた傑作娯楽映画を「新・午前十時の映画祭」として連続上映し、多くの映画ファンに足をお運びいただきました。

この結果、当事業では、売上高は23億41百万円（前年同期比2.5％減）、営業利益は１億９百万円（前年同期比6.6％減）となりました。

【リラクゼーション事業】

飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi.Coo.」におきましては、地域に密着したイベントの積極的展開やメニューの開発を図り、安定した売り上げを確保し順調に推移いたしました。

温浴部門の名古屋市中川区の「太平温泉 天風の湯」および愛知県江南市の「松竹温泉 天風の湯」におきましては、近隣企業等への営業活動など販売促進の強化を図り、客数を伸ばす施策を積極的に実践してまいりました。

また、「松竹温泉 天風の湯」におきましては、11月16日に新たに炭酸泉を設けるなど、施設をリニューアルし、よりリラックスできる空間となるよう努めてまいりました。

しかしながら、客単価の低下や光熱費の値上げなどもあり、依然として厳しい状況でありました。

この結果、当事業では、売上高は８億38百万円（前年同期比0.4％減）、営業損失は23百万円となりました。

【アド事業】

当事業におきましては、得意分野の映画宣伝関連やサイン工事に集中特化した積極的な営業展開を図り、安定的な収益の維持に努めてまいりました。消費税増税前の特需もあり、下期の売り上げの伸びが業績に大きく貢献いたしました。

この結果、当事業では、売上高は２億44百万円（前年同期比34.1％増）、営業利益は27百万円となりました。

今後の見通し

今後のわが国経済は、景気は緩やかな回復を続けていくものと予想されますが、消費税率の引き上げに伴う影響、ならびに世界経済の下振れが日本の景気に及ぼす影響のリスク等が懸念され、先行き不透明な状況は依然として続いております。

当社グループにおきましても、厳しい経営環境が続くものと思われますが、「感動の創造」をキーワードとする経営を心掛け、お客様目線に立った一層のサービスの充実を図り、感動をお届けできる商品のご提供に努めてまいります。

また、本年４月から組織の名称も「営業本部」、「経営管理本部」をそれぞれ、「感動創造本部」、「感動創造支援本部」に変更するなど、「感動」を前面に打ち出し、グループ一丸となって「感動の創造」に邁進してまいる所存であります。

シネマ事業では、引き続き映画鑑賞のより良い環境創りに留意するとともに、デジタルの特性を活かし今までにない作品のご提供等、独自性を追求した効率的な番組編成に努めてまいります。

第81期の予定作品といたしましては、洋画では７月公開の３Ｄ映画「オール・ユー・ニード・イズ・キル」、およびハリウッド版「ゴジラ」、８月公開の３Ｄ映画「トランスフォーマー／ロストエイジ」、３月公開の「ホビット ゆきて帰りし物語」、邦画では、８月および９月に２作公開の「るろうに剣心」、８月公開の「ホットロード」、12月公開の「寄生獣PART１」、アニメでは、７月公開の「思い出のマーニー」、８月公開の３Ｄ映画「STAND BY ME ドラえもん」、12月公開の「劇場版アイカツ！」、ODSでは、10月まで毎月１週間公開される「月イチ歌舞伎」、「METライブビューイング」、さらに、「第二回 新・午前十時の映画祭」など、幅広いジャンルの良質な作品を予定しております。

また、名古屋駅前に平成28年６月末に竣工予定の「(仮称) 新・第２豊田ビル」に出店するシネマコンプレックス（７スクリーン、1,100席の予定）につきましては、具体的な設計、運営計画を立案中であり、最新の設備、技術の導入についても鋭意研究し、業界の動向にも注視し、慎重に検討してまいります。

リラクゼーション事業では、競合店舗がひしめく中、近隣の顧客開発も強化し、引き続き地域密着型の運営を心掛け、店舗独自のイベントの実施やサービスの充実を図りお客様に満足いただける店舗創りに努めてまいります。

アド事業では、積極的な営業展開を図り、サイン工事や得意分野の映画宣伝関連をさらに伸ばし、売上の安定化と上積みを目指してまいります。

サービス業を営んでいる当社グループでは、お客様に選ばれる施設となるよう、一層の精進をしてまいる所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

連結貸借対照表

（平成26年３月31日現在）

（単位：千円）

科目	金額	科目	金額
資産の部		**負債の部**	
流動資産	**1,047,240**	**流動負債**	**578,235**
現金及び預金	585,445	支払手形及び買掛金	252,770
受取手形及び売掛金	122,897	１年内返済予定の長期借入金	131,196
有価証券	210,189	リース債務	35,750
たな卸資産	7,125	未払法人税等	21,506
繰延税金資産	21,051	未払消費税等	14,907
その他	101,475	未払費用	49,435
貸倒引当金	△944	役員賞与引当金	4,500
		賞与引当金	13,783
		その他	54,385
固定資産	**3,461,577**	**固定負債**	**759,944**
有形固定資産	**(2,546,914)**	長期借入金	219,092
建物及び構築物	2,085,239	リース債務	110,751
機械装置及び運搬具	196,825	退職給付に係る負債	62,641
工具、器具及び備品	80,052	長期未払金	40,000
土地	179,153	資産除去債務	52,350
建設仮勘定	5,644	受入保証金	232,260
無形固定資産	**(42,269)**	繰延税金負債	42,849
電話加入権	1,147	**負債合計**	**1,338,179**
ソフトウエア	41,122	**純資産の部**	
投資その他の資産	**(872,392)**	**株主資本**	**3,061,051**
投資有価証券	256,450	資本金	270,000
差入保証金	609,661	資本剰余金	13
長期前払費用	6,279	利益剰余金	2,802,021
		自己株式	△10,983
		その他の包括利益累計額	**109,585**
		その他有価証券評価差額金	109,585
		純資産合計	**3,170,637**
資産合計	**4,508,817**	**負債純資産合計**	**4,508,817**

（注）　記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

（平成25年４月１日から
平成26年３月31日まで）

（単位：千円）

科目	金	額
売上高		3,425,017
売上原価		1,634,697
売上総利益		1,790,319
販売費及び一般管理費		1,671,773
営業利益		118,546
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,872	
協賛金収入	9,671	
その他	3,112	18,656
営業外費用		
支払利息	7,589	
その他	2,800	10,389
経常利益		126,812
特別利益		
投資有価証券売却益		43,518
特別損失		
固定資産除却損		4,736
税金等調整前当期純利益		165,594
法人税、住民税及び事業税	24,830	
法人税等調整額	38,127	62,958
少数株主損益調整前当期純利益		102,636
当期純利益		102,636

（注）　記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

貸 借 対 照 表

（平成26年３月31日現在）

（単位：千円）

科　　目	金　　額	科　　目	金　　額
資　産　の　部		**負　債　の　部**	
流　動　資　産	872,712	**流　動　負　債**	477,670
現金及び預金	479,010	買　掛　金	206,106
売　掛　金	74,113	１年内返済予定の長期借入金	131,196
有　価　証　券	210,189	リ　ー　ス　債　務	29,362
商　　品	4,221	未　払　法　人　税　等	20,953
前　払　費　用	22,674	未　払　消　費　税	14,907
預　け　金	75,920	未　払　費　用	32,857
繰延税金資産	5,929	役員賞与引当金	4,500
そ　の　他	1,223	賞　与　引　当　金	7,823
貸　倒　引　当　金	△571	そ　の　他	29,963
固　定　資　産	3,992,085	**固　定　負　債**	723,598
有形固定資産	(2,949,001)	長　期　借　入　金	219,092
建　　物	1,987,695	リ　ー　ス　債　務	91,938
構　築　物	68,038	退職給付引当金	48,012
機　械　装　置	171,274	長　期　未　払　金	35,800
器　具　備　品	47,180	資産除去債務	49,885
土　　地	669,168	受　入　保　証　金	236,460
建　設　仮　勘　定	5,644	繰延税金負債	42,410
無形固定資産	(32,449)	**負　債　合　計**	1,201,269
電　話　加　入　権	861	**純　資　産　の　部**	
ソフトウエア	31,588	**株　主　資　本**	3,553,998
投資その他の資産	(1,010,633)	**資　本　金**	(270,000)
投資有価証券	256,243	**資　本　剰　余　金**	(13)
関係会社株式	45,000	資本準備金	13
関係会社長期貸付金	115,000	**利　益　剰　余　金**	(3,294,967)
差　入　保　証　金	589,336	利益準備金	67,500
長　期　前　払　費　用	6,203	その他利益剰余金	3,227,467
貸　倒　引　当　金	△1,150	配当準備積立金	415,337
		別　途　積　立　金	2,380,000
		繰越利益剰余金	432,130
		自　己　株　式	(△10,983)
		評価・換算差額等	109,529
		その他有価証券評価差額金	(109,529)
		純　資　産　合　計	3,663,528
資　産　合　計	4,864,797	**負債純資産合計**	4,864,797

（注）　記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

損益計算書

（平成25年４月１日から
平成26年３月31日まで）

（単位：千円）

科目	金	額
売上高		**2,531,028**
売上原価		**1,348,556**
売上総利益		**1,182,471**
販売費及び一般管理費		**1,073,352**
営業利益		**109,119**
営業外収益		
受取利息及び配当金	8,283	
協賛金収入	9,671	
雑収入	7,974	25,928
営業外費用		
支払利息	7,589	
雑損失	2,436	10,025
経常利益		**125,022**
特別利益		
投資有価証券売却益		43,518
特別損失		
固定資産除却損		4,693
税引前当期純利益		**163,847**
法人税、住民税及び事業税	24,277	
法人税等調整額	42,297	66,575
当期純利益		**97,272**

（注） 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

会　社　の　概　要（平成26年３月31日現在）

設　　　　立	昭和29年７月23日
資　本　金	270,000,000円
発行済株式総数	538,799株 （自己株式1,201株を除く）
株　主　数	2,809名
従 業 員 数	27名
本　　　　店	名古屋市中村区名駅四丁目７番１号
事　業　所	ピカデリー　名古屋市中村区 ミッドランドシネマ 名古屋空港　愛知県西春日井郡豊山町 ミッドランドスクエア シネマ　名古屋市中村区
連 結 子 会 社	中日本商事株式会社 名古屋市中村区名駅四丁目７番１号 覚王山カフェJi.Coo.　名古屋市千種区 太平温泉 天風の湯　名古屋市中川区 松竹温泉 天風の湯　愛知県江南市 中日本エージェンシー　名古屋市中村区

役　　　　　員（平成26年６月25日現在）

代表取締役社長	服部　徹	
取　締　役	原田克己	感動創造本部担当・感動創造本部本部長、興行部上席部長
取　締　役	三田則男	感動創造支援本部担当・感動創造支援本部本部長、経営企画部上席部長、経理部上席部長
取　締　役	水尾健一	（社外取締役）
取　締　役	大谷信義	（社外取締役）
常勤監査役	佐藤桂一	
監　査　役	新井紀夫	（社外監査役）
監　査　役	岡本安史	（社外監査役）
執 行 役 員	貴田吉晴	感動創造支援本部担当・感動創造支援本部副本部長、経営企画部部長、総務部部長
執 行 役 員	小塚　康	感動創造本部担当・感動創造本部副本部長、興行部部長

「株主ご優待券」について

当社の株式１単元（100株）以上を期末（３月末日）および中間期末（９月末）に保有している株主の皆様に対し、次の要領で「株主ご優待券」を発行いたします。

３月末現在の株主の皆様に８，９，10月、三ヶ月間の内でご利用いただける「株主ご優待券」および11，12，翌年１月、三ヶ月間の内でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、６月の定時株主総会終了後、決議ご通知に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

９月末現在の株主の皆様に２，３，４月、三ヶ月間の内でご利用いただける「株主ご優待券」および５，６，７月、三ヶ月間の内でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、12月初旬に中間報告書に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

発行基準

100株以上	5枚	（使用期間三ヶ月）	半期　10枚
200株以上	10枚	（使用期間三ヶ月）	半期　20枚
300株以上	15枚	（使用期間三ヶ月）	半期　30枚
400株以上	20枚	（使用期間三ヶ月）	半期　40枚
500株以上	25枚	（使用期間三ヶ月）	半期　50枚
1,000株以上	40枚	（使用期間三ヶ月）	半期　80枚
2,000株以上	50枚	（使用期間三ヶ月）	半期 100枚
4,000株以上	75枚	（使用期間三ヶ月）	半期 150枚

ご利用要領

●「株主ご優待券」を下記映画館にてご利用の場合、無料入場券としてご利用できます。（１枚で１名様有効）

映画館	住所・電話番号
ピカデリー	名古屋市中村区名駅４－９－８ センチュリー豊田ビル２Ｆ　(052) 551－5461
ミッドランドシネマ 名古屋空港	愛知県西春日井郡豊山町豊場林先１－８－501 エアポートウォーク名古屋内　(0568) 39－3911
ミッドランドスクエア シネマ	名古屋市中村区名駅４－７－１ ミッドランドスクエア 商業棟５Ｆ　(052) 527－8808

※３Ｄ映画については、「ピカデリー」・「ミッドランドシネマ 名古屋空港」でのみ３Ｄ鑑賞料金（400円）をご負担のうえ、ご利用可。
（ミッドランドスクエア シネマは、ご利用不可。）

●「株主ご優待券」を下記スーパー銭湯にてご利用の場合、「株主ご優待券」１枚と下記両店共通の「全日ご招待券」３枚を、各店の受付にて交換いたします。（「全日ご招待券」の有効期限は、交換日の翌月末日となります。）

スーパー銭湯	住所・電話番号
太平温泉 天風の湯	名古屋市中川区平戸町２－１－10　(052) 355－4126
松竹温泉 天風の湯	愛知県江南市前飛保町栄378－15　(0587) 53－4126

株　主　メ　モ

事業年度	４月１日～翌年３月31日
定時株主総会	毎年６月
配当金受領株主確定日	期末配当金３月31日・中間配当金９月30日
株主名簿管理人 特別口座　口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137－8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 電話　0120－232－711（通話料無料）
公告掲載新聞	中部経済新聞
上場取引所	名古屋証券取引所　第二部
証券コード	9643
インターネットアドレス	http://www.nnk-cinema.co.jp

【株式に関するお手続きについて】

株式に関するお手続きは、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとされておりますので、お取引のある証券会社等にご照会ください。

なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行で承っております。特別口座の一部お手続き用紙のご請求は、次のお電話およびインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

電話　0120－244－479（通話料無料）

インターネットアドレス　http://www.tr.mufg.jp/daikou/

上場株式等の配当等に関する『源泉徴収税率』変更のご案内

平成26年１月１日以降に支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として**20%**（所得税15%、住民税５%）の源泉徴収税率が適用されております。

また、**平成49年12月31日まで**、復興特別所得税として**所得税額×2.1%**が追加課税されております。

平成26年１月１日以降に支払われる上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率は、以下のとおりとなります。

	平成25年12月31日まで	平成26年１月１日から 平成49年12月31日まで	平成50年１月１日から
所得税 （含む復興特別所得税）	7.147%	**15.315%**	15%
住民税	３%	**５%**	５%
合計	10.147%	**20.315%**	20%

○源泉徴収が行われる場合の税率です。ただし、内国法人の場合は住民税が徴収されません。

○本ご案内は、上場株式等の配当等に係る税金について、一般的な情報をご案内したものであり、この内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄りの税務署、税理士等にお問合わせください。

○本ご案内は、平成25年12月時点の情報をもとに作成しております。